

会 議 録

会議名	平成30年度 第4回豊田市入札監視委員会			
日 時	平成31年3月27日(水) 午後3時～午後3時40分			
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 53会議室			
出席者	委員長	曾我部 博之	副市長	杉山 基明
	委 員	河野 伊知郎	事業管理者	今井 弘明
		丹羽 忠彦	総務部	副部長 藤本 聡
		岡田 千絵		検査監 八木 重善
			総務部契約課	課 長 能見 秀行
				副課長 永田 浩晃
				担当長 岸上 和美
				担当長 中條 圭祐
			上下水道局総務課	課 長 水谷 満
			副課長 石川 直美	

1 意見具申

曾我部委員長から意見具申書の内容説明後、市及び上下水道局に手渡す。

2 意見交換

質 問	回 答
平成31年度の普通建設事業費は増加しているのか。	平成30年度に比べ26億円の増加となる。予算総額も40億円増加しており、積極的な予算編成をして、市民にも、企業にも元気な豊田市アピールしていきたい。
今後の財政見込みは。	地方交付税の合併特例の終了や法人市民税率も国税化の影響があり、200億円程度減少する見込みである。2040年には人口減少により42万人になる見込みだが、ラグビーワールドカップもあり、2019年は積極的な予算編成をした。
ラグビーワールドカップのチケット販売状況は。	日本国内で販売されているチケットでは、日本戦とニュージーランド戦は人気があり、ほとんど残りが無い。ヨーロッパ販売もあり、全体のチケット数の把握はできていない。
ラグビーワールドカップの開催前イベントは終わったのか。	9月20日の開幕までにイベントを開催する。試合のある4日間が重要になり、まちなかを滞在する仕掛けをしていきたい。
経済効果はどうなのか。	経済効果は大きいですが、チケットの売上げの直接効果はないため、宿泊や山間部への観光など波及効果を上げていきたい。
組織はあるのか。	商工会議所やボランティア組織を中心に動い

	ていて、愛知県ではアートプロジェクトとも連携していく。
水道事業の老朽化対策は。	ストックマネジメント計画を策定中で、法定耐用年数による更新ではなく、目標耐用年数を設定し更新を検討している。点検等を充実し、業者のことも考慮し、平準化を考えている。
水道管の耐用年数は。	40年ではあるが、業者によれば実績はないが100年耐えられる管があるとも言う。延長もあるが、市域が広いため更新が非効率になってしまう面がある。
簡易水道事業統合の影響は。	国の方針もあって統合したが、補助金の交付があり施設の統廃合を進めている。平成24年に経営統合し、一般会計から6億円いただいているが、収支は赤字にならない程度である。
水道事業と簡易水道事業の違いは。	事業内容は変わらないが、事業規模が大きいのか、小さいかの違いである。
エアコンの工事はどうなったか。	不調不成立になった案件は、2回目の入札で契約が成立している。

3 報告事項

質 問	回 答
軽微な誤りの具体例は。	違算の影響により契約相手が変わらないことを想定している。
違算のまま契約を継続して品質に影響が出ないようにしてほしい。	品質に影響がある場合は、軽微な誤りではないと考える。違算による品質への影響がないように運用していく。